

赤れんが

もんじよかん
北海道立文書館報 No.58
2023(令和5)年3月

令和4年度展示業務の展開

新型コロナウイルス感染症による活動の制限が段階を追って緩和されたことから、今年度、当館ではさまざまな展示業務を展開しました。その実績を報告します。

【連携展示 ヒグマ～戦いと共存の歴史】

- ◎会期 令和4年7月1日(金)～9月29日(木)
- ◎場所 図書館2階北方資料室展示コーナー、文書館展示コーナー

道立図書館北方資料室から話をいただき、初めての試みとなる図書館と文書館の連携展示を実施しました。

双方の職員がアイデアを持ち寄り、話し合いを重ねた結果、最近人里での目撃が多くなっているヒグマと人間がどのように関わってきたのかを全体テーマとすることになりました。

「ヒグマってどんな動物？」など6つのコーナーを設け、図書館の資料と文書館の資料をそれぞれ展示しました。

例えば「恐ろしい存在としてのヒグマ」のコーナーでは、1878年(明治11年)に札幌郡丘珠村(現札幌市東区)の人家をヒグマが襲撃した事件を取り上げました。展示では、当時のことが記録された開拓使の公文書と、その記録をもとに事件を紹介した図書を並べ、両館の資料の違いを理解してもらえるよう工夫をしました。

令和5年度も引き続き、連携展示を実施する予定です。是非ご来館ください。



【パネル展～来て・見て・知って#道立文書館】

- ◎会期 令和4年9月28日(水)・29日(木)
- ◎場所 道庁本庁舎1階 道政広報コーナー
本庁舎に来られる方々へのPRのため、パネル展を開催しました。

文書館の所蔵する資料は、見た目が地味な文書が主なので、内容や見せ方に工夫を心がけました。

例えば、明治時代にも鉄道の冬期運行は苦勞していたなど、身近に感じられる話題を取り上げました。

また、「差出デカくね？」などインパクトのあるタイトルを考え、大きくカラフルに表示しました。

さらに、絵図、写真など文書以外の資料や、文書館の業務そのものについても紹介しました。

なお、展示に使用したパネルは、当分の間当館内で展示していますので、どうぞご覧ください。



【赤れんが庁舎コーナー(常設展示)】

令和4年10月から、1階エレベーターホールに赤れんが庁舎コーナーを設置しました。

赤れんが庁舎の模型や略年表、写真など建物の歴史に関する資料を展示しています。

【文書館所蔵資料展】

昨年度から閲覧室前のコーナーで実施している展示で、今年度は3回開催しました。テーマ等はおおりのとおりです。

- ◎テーマ 旧記に見る北海道
会期 令和4年4月5日(火)～6月29日(水)
- ◎テーマ 三県一局期の北海道と文書
会期 令和4年10月12日(水)～12月25日(日)
- ◎テーマ 北海道庁の成立と文書
会期 令和5年1月4日(水)～4月27日(木)

報告：文書等保存利用研修会（補修）

令和2年度から開始し、以降継続して開催している本研修会を、今年度も実施しました。

本研修会は、歴史資料の補修に関する基礎的な知識と補修の技術を会得することを目的として開催しているもので、筆者も補助として参加しました。

講師は、文書館資料に精通し補修業務の経験が豊富な元文書館職員の方をお願いしました。受講者は2名、全12回実施しました。

研修前半では、「アーカイブズ」とは何か、補修を必要とする資料の状態や補修の種類、補修に用いる道具や材料などについての講義を受けました。

国立公文書館における資料修復のDVDを視聴したり、実際に補修時に使用する和紙や筆・刷毛などを参照しながら知識を深めました。

研修後半では、実際の資料を用いて補修に取り組みました。

資料の汚れを除去するドライクリーニング、皺・折れ伸ばし、不用物（金属類）の除去、補修用の糊作り、和紙による繕い、劣化した紙の裏に薄い和紙を糊で貼り付け補強する裏打ち、冊子体の綴じ直しなどの作業を行いました。

受講者の方は大変熱心に補修に取り組み、書簡の裏打ちや立体的な封筒の補修など、難しい問題にも対応することができました。

その結果、12回の研修でおよそ75点の資料の補修を行いました。補修後はその情報を記録に残し、今後文書館資料として活用されることとなります。

次年度以降も資料補修の技術を習得する貴重な機会を提供できるよう、継続して研修会を開催していく予定です。



【公文書の綴じ直し】

折り込まれたまま綴じられた図面等を閲覧できるよう冊子を解体し、綴じ直す作業をしています。

（主査 宮上 司）

消えた地名：レファレンスの事例から

「札幌に昔、十二軒という地名があって、どうやら現在は宮の森となっているそうです。八軒と二十四軒という地名は現在も存在しているのに、なぜ十二軒は消えてしまったのでしょうか。」

テレビ局からこのような問い合わせがあり、当館で調べることになりました。

『角川日本地名大辞典』の「宮の森」の項をみると、1871年（明治4年）、付近に東本願寺移民12軒が入地したことにより、十二軒、十二軒沢の上などと称されたことが始まりのようです。1930年（昭和5年）からこの地区で宮様スキー大会が開催されるようになり、これ以後、「宮の森（宮ノ森）」と称されるようになったと書かれています。

公的に字名が「宮ノ森」と改正されたのは、1943年（昭和18年）5月です。

当館所蔵の公文書『字地番整理』（A7-1/3442）に、十二軒から宮の森への字名改正の際の文書が綴られています。この時に多くの字名が改称・整理されています。その理由として、字名が難解で、また、字界が不明瞭で地番が錯綜し、戸籍事務や通信・商業関係に不便であることがあげられています。

この公文書には、改正しようとする字名の意味と由来について述べた表が綴られています。「宮ノ森」については、「本道ノ総鎮守官幣大社札幌神社ノ神域ノ周囲二位置シ日夕宮ノ森ノ森巖サヲ拝スルヲ光榮トシ命名シタリ」と記載されており、スキー大会との関連については書かれていません。

ただ、この公文書には、地元の部落会会長をはじめ関係者の連名で出された嘆願書が綴られており、それには「宮ノ森」という地名は「宮ノ森スキー場」により耳慣れた名称であり、また、付近住民の神社崇敬の念を考慮したにすぎないため、「宮ノ森」ではなく「祥雲台」という字名を採用してほしい、と書かれています。

宮の森の由来は、公文書では「神社の森」となっていますが、「宮様スキーの森」という意識も一般的だったことがわかりました。

テレビ局には、十二軒の地名がなくなった時期、字地番改正の一般的な理由、そして宮の森という地名の由来について、上記公文書を典拠に回答することができました。

このような公文書を調べると、地名の由来についての再発見があるかもしれません。

（主査 吉田 千絵）

令和4年度行事開催結果報告

【古文書解説講座】

入門を5月22日（日）、初級を6月19日（日）、中級を3月13日（日）に開催し、参加者はそれぞれ16名、24名、22名で、計62名でした。

【古文書教室】

市町村と共催する教室で、古文書を読むための基礎知識と、地元に関連する資料を読む内容で実施しました。

留萌市で10月8日（土）、江別市で10月22日（土）、和寒町で11月10日（木）、室蘭市で11月26日（土）、北見市で12月3日（土）に開催し、参加者はそれぞれ16名、11名、13名、18名、21名で、計79名でした。

【文書等保存利用研修会】

「文書館・公文書館って何？」をテーマとし2月17日（金）に開催しました。4年ぶりの開催です。

文書館・公文書館の果たす役割や重要性について認識を深めてもらう目的で、当館の石川淳と札幌市公文書館の木村優美氏から、両館について施設の概要、所蔵資料の特徴、利用方法などを紹介しました。

講義の後は施設見学、質疑応答を実施しました。

参加者は19名でした。

【文書等保存利用研修会（補修）】

資料補修の知識と技術を身につけていただく研修会です。詳細は2ページの報告をご覧ください。

【施設見学】

閲覧室や書庫を案内する施設見学会を5月31日（火）、7月29日（金）、9月30日（金）の3回開催し、参加者はそれぞれ2名、1名、1名でした。

また、随時受け付けている見学については、団体・個人合わせて191名の方が当館を訪れました。

【文書館利用講座】

「箱館奉行所文書のさがし方」を6月30日（木）に、「開拓使文書のさがし方」を8月31日（水）に開催し、参加者はどちらも2名でした。

令和4年度の閲覧普及業務実績

《他館展示への資料貸出し》

国立アイヌ民族博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館での展示に使用するため、公文書2点（うち重要文化財指定文書1点）、旧記6点、私文書（十文字家文書）4点の資料を貸出しました。

《出版掲載許可》

文書館資料の複写物について、出版物等への掲載を36件許可しました。

このうちテレビ放映が3件ありました。

《利用相談》

75件の利用相談に対応しました（閲覧室や電話などで即答したものを除きます。）。

研修会参加記

【国立公文書館主催令和4年度アーカイブズ研修Ⅱを受講して】

本研修は、令和5年2月9日（木）から10日（金）の2日間に渡りオンラインで開催されました。

今回のテーマは「電子公文書の保存・利用」で、今後増加する電子データの移管等にあたってのデータの形式やその管理方法についての内容でした。

電子公文書の保存と利用に関する基本的考え方の講義の後、国や地方自治体における電子公文書の管理、移管、保存、利用について事例報告があり、当館からも山田正が報告を行いました。

当館では、電子公文書の保存・利用について、まだ未確定な部分があるため、日々新たに生じる課題について各館の取り組みを勉強できるよう、引き続きこのテーマで研修会を開催していただきたいと思えます。

（専門主任 本間 佳名子）

【全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）第48回全国（滋賀）大会に参加して】

本大会は、令和4年10月27日（木）から28日（金）の2日間に渡りオンラインで開催されました。

今回のテーマは「公文書管理条例と向き合う公文書館－認証アーキビストの挑戦－」でした。

27日は、電子記録や認証アーキビストをテーマとした研修会が行われ、28日は滋賀県の公文書管理条例や情報公開制度、滋賀県立公文書館の概要、評価選別、利用審査、展示企画、学校連携事業などの業務について職員の方から報告がありました。

歴史的に重要な資料を選別、保存し、広く活用を図るという、重要にもかかわらず認知度の低い文書館の業務及びその専門性を内外にアピールするために、公的資格は大切だと感じました。当館の3人の認証アーキビストの活躍及び若い人材が育つことに期待したいと思えます。

（専門主任 本間 佳名子）

全道図書館専門研修会への出講

令和4年12月8日(木)～9日(金)に開催された全道図書館専門研修会「地域資料サービスの充実を目指して」(北海道図書館振興協議会、北海道立図書館主催)のうち、2日目の「文書館の資料で探す我が家のルーツ」の講師を吉田千絵が担当しました。

まず、文書館の所蔵資料および利用方法について紹介しました。次いで、開拓使文書、三県文書及び国有未開地処分法完結文書を例に、ルーツ探しの手段になりうるどのような情報があるか、どのように検索したらいいかについて説明しました。

文書館資料検索システムの機能紹介

今回は、新システムで追加された「申請補助機能」についてご紹介します。

「申請補助機能」とは、検索結果をデータとしてダウンロードできる機能です。

使い方は、検索結果表示画面のリスト上部にある3つのボタンのうち、「申請補助機能」ボタンを押すだけです。すると、マイクロソフト社の表計算ソフトエクセル形式で目録データがダウンロードされます。このデータを、「閲覧請求書兼複写承認申請書」の作成に役立ててください。

「何だ、『閲覧請求書兼複写承認申請書』が印刷できるんじゃないのか」と思われるかもしれません。

しかし、検索結果の件数が多いとか、自分が探しているものとは違うものが多く含まれている場合な

どに絞り込みをかけることができ、大変便利です。ぜひ一度試してみてください。

調査研究事業報告書の発行

令和5年3月に『北海道立文書館調査研究事業報告書』の第6号を刊行しました。

当館職員が執筆した次の1本を収録しています。
◎石川淳「<研究ノート> 旧記『蝦夷物産誌』に関する一考察」

報告書は、道内市町村図書館や資料保存機関などに配布するほか、行政情報センター(道庁別館3階)で有償頒布しますので、ぜひご覧ください。

令和5年度の主な行事予定

【古文書解読講座】

◎入門 令和5年5月21日(日)

◎初級 令和5年6月18日(日)

場所：いずれも道立図書館研修室

中級については、日程、内容など詳細が決まり次第別途ホームページ等でお知らせします。

また、古文書教室、文書等保存利用研修会、文書等保存利用研修会(補修)の開催を予定しています。

日程、内容など詳細は別途ホームページ等でご案内します。

このほか、現在休止中の文書館ボランティアについても、新年度から再開する予定です。

これについても、詳細が決まりましたら募集しますので、しばらくお待ちください。

北海道立文書館 〒069-0834 江別市文京台東町41番地1

■電話 011-388-3001、3002 FAX 011-386-6787

■Eメール somu.monjyo1@pref.hokkaido.lg.jp

■URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/mnj/>

■フェイスブック @archivesofhokkaido

■ツイッター @HKD_Archives

■交通

- ・JR函館本線 大麻駅南口から徒歩9分
- ・JR北海道バス・夕鉄バス 大麻駅南口停留所から徒歩9分
- ・駐車場 文書館前3台、図書館前35台(連絡通路あり)

■開館時間 9時から17時まで

※6～8月の毎週木・金曜日(月末休館日を除く。)は19時まで

■休館日

- ・月曜日(月曜日が国民の祝日の場合、その直後の平日)
- ・毎月末日(休日、月曜日、土曜日及び日曜日の場合は、その直前の平日。12月は28日)
- ・年末年始(12月29日～翌年1月3日)
- ・蔵書点検期間(年1回、10日間程度。期間についてはホームページ等でお知らせします。)

